



NIPPON SAN SO HOLDINGS

# 2022年3月期 第1四半期 決算補足資料 (決算電話会議資料)

(2021年6月30日に終了した3ヵ月間)

2021年7月30日  
東京 (日本)

The Gas Professionals

# 重要な注意事項

本注意事項において、「プレゼンテーション」とは、本プレゼンテーションにおいて、日本酸素ホールディングス株式会社（以下、「日本酸素HD」）によって説明または配布された本書類、口頭でのプレゼンテーション、質疑応答及び書面または口頭等の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明および質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内もしくは勧誘、または、いかなる投票もしくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明または形成するものではありません。また、これを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより、株式または有価証券の募集を公に行うものではありません。本プレゼンテーションは、投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく、情報提供のみを目的として、受領者に使用されるという条件の下で、受領者に対して提供される追加情報とともに提供されております。この制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券関連法規の違反となる可能性がございます。日本酸素HDが直接的に、または間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「日本酸素HD」という用語は、日本酸素HDおよびそのグループ会社全般を参照するものとして便宜上使用されていることがあります。また、同様に「当社、当社グループ」という用語は、子会社全般またはそこで勤務するものを参照していることもありえます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることがあります。

## ・将来に関する見通し情報

本プレゼンテーションおよび本プレゼンテーションに関して配布された資料には、日本酸素HDの理念または見解、目標及び計画を含む当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、見積もり、予測が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする」「計画する」「信じる」「望む」「継続する」「期待する」「めざす」「意図する」「確実にする」「だろう」「かもしれない」「すべきである」「であろう」「することができた」「予想される」「見込む」「予想する」などの意思や推量をあらわす用語もしくは同様の表現またはそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られません。これらの将来見通しに関する情報は、多くの重要な要因に関する前提や想定に基づいており、実績としてあらわれる業績では、将来見通し情報を通じて明示または暗示された将来の業績とは異なる可能性があります。その重要な要因には、国内外の一般的な経済条件を含む、当社のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の開発・出現、関連法規の変更、規制当局による判断とその時期、金利及び為替の変動、販売された製品または試験・候補製品の安全性または有効性に関するクレームまたは懸念等、新型コロナウイルス感染症のような健康危機が当社の事業を行う国・地域の政府を含む当社とその顧客および供給業者に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI（Post Merger Integration:買収後統合）の時期及び影響、日本酸素HDの事業資産を売却する能力およびかかる資産売却のタイミング、当社のWebサイトにおいて閲覧可能な日本国の有価証券報告書関連法規に沿って提出された最新の年次有価証券報告書及び当社の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。日本酸素HDは、関連法規や証券取引所の関連規制により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる情報または当社が提示するあらゆる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は、将来の経営結果の指針とはなりません。本プレゼンテーションにおける日本酸素HDの経営成績は、日本酸素HDの将来の経営成績またはその公表を示すものではなく、その予測、予想、保証または見積もりではないことにご留意ください。

## ・国際会計基準（IFRS）に準拠しない財務指標

本プレゼンテーションには、コア営業利益、EPS（1株あたりの当期利益）、有利子負債、純有利子負債、調整後ネットD/Eレシオ、フリー・キャッシュ・フローのように、IFRSに準拠しない財務指標（以下、「当社独自指標」）が含まれています。当社役員及び執行役員は、業績評価ならびに経営および投資判断をIFRSおよびIFRS以外の指標に基づき実施しています。当社独自指標においては、最も近いIFRS財務指標では含まれることとなる、または異なる数値となる一定の利益、費用およびキャッシュ・フロー項目を除外しております。当社独自指標を提供することで、当社役員及び執行役員は、投資家の皆さまに対して、当社の経営状況、主要な業績および動向のさらなる分析のための付加的な情報を提供したいと考えており、当社独自指標は、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません。投資家の皆さまにおかれましては、当社独自指標について、これらによく対応するIFRSに準拠した財務指標との照合を行っていただきますように、お願い申し上げます。

## ・財務情報

当社の財務情報は、国際会計基準（IFRS）に基づき作成しております。

# Contents

1. 2022年3月期 第1四半期業績
2. 2022年3月期 通期業績予想
3. Appendix
  1. 当社グループ概要
  2. 開示内容の変更
  3. 非経常項目
  4. 重要経営指標
  5. 要約キャッシュ・フロー計算書
  6. 要約財政状態計算書
  7. 売上収益構成
  8. 産業ガスの供給モデル

# 1. 2022年3月期 第1四半期業績

---

## 業績概要

	2021年3月期	2022年3月期	前年同期比		2022年3月期
	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率	通期予想
(単位：億円)	(4-6月期)	(4-6月期)			(5月10日発表)
売上収益	1,845	2,183	+338	+18.3%	8,650
コア営業利益	140	245	+105	+74.6%	960
コア営業利益率	7.6%	11.3%			11.1%
非経常項目	—	—	—		5
営業利益 (IFRS)	140	245	+105	+74.6%	965
営業利益率	7.6%	11.3%			11.2%
金融損益	-25	-23	+2		-105
税引前四半期利益	114	222	+108	+93.1%	860
法人所得税	-38	-57	+19		-260
四半期利益	76	164	+88	+115.0%	600
(四半期利益の帰属)					
親会社の所有者に帰属する四半期利益	74	160	+86	+116.0%	582
四半期利益率	4.0%	7.4%			6.7%
非支配持分に帰属する四半期利益	1	3	+2		18
為替レート (円)	USD (米ドル)	107.38	109.76		105
(期中平均レート)	EUR (ユーロ)	118.74	132.44		125
	AUD (豪ドル)	71.69	84.15		74



# 業績概要 (セグメント別) [組替再表示\*]

		2021年3月期 第1四半期	2022年3月期		前年同期比		為替影響
			第1四半期	構成比	増減額	増減率	
(単位：億円)							
日本ガス事業	売上収益	769	<b>830</b>	38.1%	+61	+8.0%	
	セグメント利益	47	<b>65</b>	26.5%	+18	+36.9%	
	セグメント利益率	6.2%	7.8%				
米国ガス事業	売上収益	448	<b>516</b>	23.7%	+68	+15.1%	+9
	セグメント利益	35	<b>70</b>	28.7%	+35	+100.1%	+1
	セグメント利益率	7.8%	13.6%				
欧州ガス事業	売上収益	351	<b>474</b>	21.8%	+123	+35.3%	+40
	セグメント利益	33	<b>66</b>	27.0%	+33	+99.1%	+3
	セグメント利益率	9.5%	14.0%				
アジア・オセアニアガス事業	売上収益	225	<b>292</b>	13.4%	+67	+29.8%	+23
	セグメント利益	21	<b>30</b>	12.4%	+9	+40.8%	+3
	セグメント利益率	9.6%	10.4%				
サーモス事業	売上収益	49	<b>67</b>	3.1%	+18	+36.0%	+1
	セグメント利益	6	<b>15</b>	6.1%	+9	+143.8%	+0
	セグメント利益率	12.4%	22.3%				
調整額	売上収益	0	<b>0</b>	0.0%	+0	-0.2%	
	セグメント利益	-3	<b>-1</b>	-0.6%	+2	—	
連結合計	売上収益	1,845	<b>2,183</b>	100.0%	+338	+18.3%	+74
	セグメント利益	140	<b>245</b>	100.0%	+105	+74.6%	+7
	コア営業利益率	7.6%	11.3%				

\* 組替再表示：2022年3月期でセグメント区分の内訳組替えを実施したため、2021年3月期は新たなセグメント区分に基づき表示しています。また、旧・国内ガス事業は、2022年3月期より「日本ガス事業」に改称します。

## 業績概要（日本ガス事業）

(単位：億円)	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比		
	第1四半期	構成比	第1四半期	構成比	増減額	増減率	
<b>ガス</b>	パッケージ	32	4.2%	33	4.1%	+1	+4.9%
	バルク	248	32.3%	285	34.3%	+37	+14.8%
	オンサイト	173	22.6%	182	22.0%	+9	+5.3%
	特殊ガス	63	8.2%	71	8.6%	+8	+12.8%
	小計	517	67.3%	573	69.0%	+56	+10.8%
<b>機器・工事 他</b>	産業ガス関連	217	28.3%	216	26.1%	-1	-0.5%
	エレクトロニクス関連	33	4.4%	40	4.9%	+7	+20.6%
	小計	251	32.7%	257	31.0%	+6	+2.4%
<b>合計</b>	売上収益	769	100.0%	830	100.0%	+61	+8.0%
	セグメント利益	47		65		+18	+36.9%
	セグメント利益率	6.2%		7.8%			

## 売上収益増減要因

- ・ バルク・オンサイト（セパレートガス）： 製造業全般で需要が回復
- ・ 特殊ガス： エレクトロニクス向けの出荷数量増
- ・ 機器・工事 他： 医療関連、エレクトロニクス向けが堅調

## セグメント利益増減要因

- ・ 燃料価格下落によるコスト低減
- ・ バルクでは、増収による増益
- ・ 特殊ガス、エレクトロニクス機器・工事での増収による増益

## 業績概要（米国ガス事業）

(単位：億円)	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比		
	第1四半期	構成比	第1四半期	構成比	増減額	増減率	
ガス	パッケージ	108	24.2%	111	21.5%	+3	+2.3%
	バルク	187	41.8%	224	43.5%	+37	+19.7%
	オンサイト	54	12.1%	55	10.7%	+1	+1.0%
	特殊ガス	18	4.0%	16	3.2%	-2	-9.3%
	小計	369	82.2%	407	78.9%	+38	+10.4%
機器・工事 他	産業ガス関連	65	14.6%	92	18.0%	+27	+41.3%
	エレクトロニクス関連	14	3.1%	16	3.2%	+2	+15.5%
	小計	79	17.8%	109	21.1%	+30	+36.8%
合計	売上収益	448	100.0%	516	100.0%	+68	+15.1%
	セグメント利益	35		70		+35	+100.1%
	セグメント利益率	7.8%		13.6%			

※為替換算による影響：売上収益 +9億円、セグメント利益 +1億円

売上収益増減要因	セグメント利益増減要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バルク：製造業全般で需要が回復</li> <li>・ オンサイト：供給先の稼働は前期並み</li> <li>・ 機器・工事 他：溶接・溶断関連で需要が回復</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バルクでは、出荷数量の増加による増収による増益に加え、採算性が改善</li> <li>・ 溶接・溶断関連での増収による増益</li> </ul>



## 業績概要（欧州ガス事業）

(単位：億円)	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比		
	第1四半期	構成比	第1四半期	構成比	増減額	増減率	
ガス	パッケージ	84	24.1%	107	22.7%	+23	+27.3%
	バルク	164	46.7%	223	47.0%	+59	+36.1%
	オンサイト	54	15.4%	81	17.1%	+27	+50.4%
	特殊ガス	15	4.4%	23	5.0%	+8	+53.5%
	小計	318	90.7%	436	91.9%	+118	+37.0%
機器・工事 他	産業ガス関連	32	9.3%	38	8.1%	+6	+18.1%
	小計	32	9.3%	38	8.1%	+6	+18.1%
合計	売上収益	351	100.0%	474	100.0%	+123	+35.3%
	セグメント利益	33		66		+33	+99.1%
	セグメント利益率	9.5%		14.0%			

※為替換算による影響：売上収益 +40億円、セグメント利益 +3億円

売上収益増減要因	セグメント利益増減要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バルク・パッケージ・オンサイト：製造業全般で需要が回復 (前期は新型コロナウイルス感染症拡大による業績影響は大)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全般で増収による増益 (前期は新型コロナウイルス感染症拡大による業績影響は大)</li> </ul>

## 業績概要（アジア・オセアニアガス事業）

(単位：億円)	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比		
	第1四半期	構成比	第1四半期	構成比	増減額	増減率	
ガス	パッケージ	7	3.2%	10	3.6%	+3	+48.6%
	バルク	87	38.9%	119	41.0%	+32	+36.7%
	オンサイト	8	3.7%	11	3.9%	+3	+38.4%
	特殊ガス	73	32.8%	81	27.8%	+8	+10.2%
	小計	177	78.5%	223	76.3%	+46	+26.2%
機器・工事 他	産業ガス関連	38	17.1%	53	18.4%	+15	+39.9%
	エレクトロニクス関連	10	4.4%	15	5.3%	+5	+54.1%
	小計	48	21.5%	69	23.7%	+21	+42.9%
合計	売上収益	225	100.0%	292	100.0%	+67	+29.8%
	セグメント利益	21		30		+9	+40.8%
	セグメント利益率	9.6%		10.4%			

※為替換算による影響：売上収益 +23億円、セグメント利益 +3億円

売上収益増減要因	セグメント利益増減要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バルク：全般的に需要は回復</li> <li>・ 特殊ガス：エレクトロニクス向けの出荷数量は堅調</li> <li>・ 機器・工事 他：全般的に需要は回復</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東南アジア全般での増収による増益</li> <li>・ 豪州でのLPガス事業は堅調</li> </ul>

## 業績概要（サーモス事業）

(単位：億円)	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比		
	第1四半期	構成比	第1四半期	構成比	増減額	増減率	
日本	43	86.7%	57	85.2%	+14	+33.5%	
海外	6	13.3%	10	14.8%	+4	+52.4%	
合計	売上収益	49	100.0%	67	100.0%	+18	+36.0%
	セグメント利益	6		15		+9	+143.8%
	セグメント利益率	12.4%		22.3%			

※為替換算による影響：売上収益 +1億円、セグメント利益 +0億円

売上収益増減要因	セグメント利益増減要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本：主力のケータイマグやスポーツボトルの需要回復で出荷数量増。 在宅での巣籠もり需要の継続でフライパン・タンブラーは堅調。</li> <li>海外：各地域で出荷数量が増え、増収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本：増収による増益</li> <li>海外：持分法適用会社の販売は回復</li> </ul>

## 2. 2022年3月期 通期業績予想

---

## 業績概要

	2021年3月期		2022年3月期	
	通期	通期	通期予想	前期比 増減額 増減率
(単位：億円)				
<b>売上収益</b>	<b>8,182</b>	<b>8,182</b>	<b>8,650</b>	<b>+468 +5.7%</b>
<b>コア営業利益</b>	<b>872</b>	<b>872</b>	<b>960</b>	<b>+88 +10.0%</b>
コア営業利益率	10.7%	10.7%	11.1%	
非経常項目	15	15	5	-10
<b>営業利益 (IFRS)</b>	<b>888</b>	<b>888</b>	<b>965</b>	<b>+77 +8.6%</b>
営業利益率	10.9%	10.9%	11.2%	
金融損益	-111	-111	-105	+6
<b>税引前当期利益</b>	<b>777</b>	<b>777</b>	<b>860</b>	<b>+83 +10.7%</b>
法人所得税	-208	-208	-260	+52
当期利益	568	568	600	+32 +5.5%
(当期利益の帰属)				
<b>親会社の所有者に帰属する当期利益</b>	<b>552</b>	<b>552</b>	<b>582</b>	<b>+30 +5.4%</b>
当期利益率	6.7%	6.7%	6.7%	
非支配持分に帰属する当期利益	16	16	18	+2
為替レート (円)	USD (米ドル)	105.94	105	
(期中平均レート)	EUR (ユーロ)	124.07	125	
	AUD (豪ドル)	73.67	74	



# 業績概要 (セグメント別) [組替再表示\*]

		2021年3月期	2022年3月期		前期比		為替影響
		通期	通期	構成比	増減額	増減率	
(単位：億円)							
日本ガス事業	売上収益	3,419	<b>3,600</b>	41.6%	+181	+5.3%	
	セグメント利益	298	<b>311</b>	32.4%	+13	+4.1%	
	セグメント利益率	8.7%	8.6%				
米国ガス事業	売上収益	1,899	<b>1,980</b>	22.9%	+81	+4.2%	-16
	セグメント利益	231	<b>236</b>	24.6%	+5	+2.0%	-2
	セグメント利益率	12.2%	11.9%				
欧州ガス事業	売上収益	1,600	<b>1,730</b>	20.0%	+130	+8.1%	+11
	セグメント利益	210	<b>248</b>	25.8%	+38	+18.0%	+1
	セグメント利益率	13.1%	14.3%				
アジア・オセアニアガス事業	売上収益	1,020	<b>1,060</b>	12.3%	+40	+3.9%	
	セグメント利益	89	<b>102</b>	10.6%	+13	+14.3%	
	セグメント利益率	8.7%	9.6%				
サーモス事業	売上収益	239	<b>280</b>	3.2%	+41	+16.8%	
	セグメント利益	51	<b>74</b>	7.7%	+23	+43.2%	
	セグメント利益率	21.6%	26.4%				
調整額	売上収益	2	—	—	—	—	
	セグメント利益	-8	<b>-11</b>	-1.1%	-3	—	
連結合計	売上収益	8,182	<b>8,650</b>	100.0%	+468	+5.7%	-4
	セグメント利益	872	<b>960</b>	100.0%	+88	+10.0%	+0
	コア営業利益率	10.7%	11.1%				

\* 組替再表示：2022年3月期でセグメント区分の内訳組替えを実施したため、2021年3月期は新たなセグメント区分に基づき表示しています。



# Appendix

---

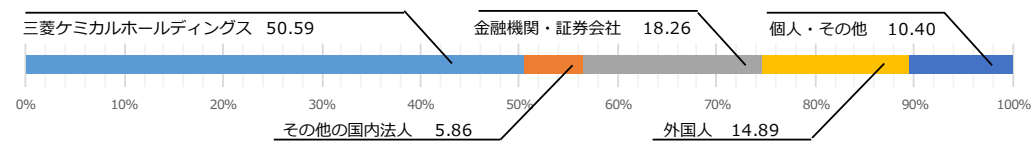
会社概要 (2021年3月31日現在)

商号 (英文名称)	日本酸素ホールディングス株式会社 Nippon Sanso Holdings Corporation
設立	明治43年(1910年) 10月30日
本社所在地	東京都品川区小山1-3-26
電話番号	03-5788-8500 (代表)
代表者	代表取締役社長 CEO 濱田 敏彦
資本金	373億44百万円

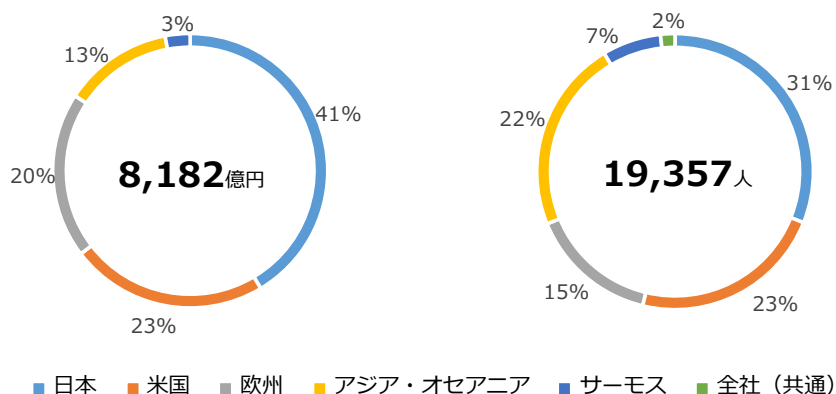
株式情報 (2021年3月31日現在)

発行済み株式総数	433,092,837 株
株主数	16,205 人
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	4091.T

株式所有者別割合 (%)



セグメント別売上割合および連結従業員数構成比 (2021年3月31日現在)



企業理念

# The Gas Professionals

グループ理念

進取と共創。ガスで未来を拓く。

Proactive. Innovative. Collaborative.

Making life better through gas technology.

グループビジョン

私たちは、革新的なガスソリューションにより  
社会に新たな価値を提供し、  
あらゆる産業の発展に貢献すると共に、  
人と社会と地球の心地よい未来の実現をめざします。

We aim to create social value through innovative gas  
solutions that increase industrial productivity,  
enhance human well-being and  
contribute to a more sustainable future.

主要事業

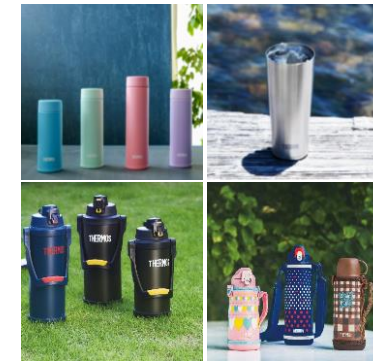
産業ガス事業



エレクトロニクス事業



サーモス事業



2022年3月期 業績見通し (IFRS)

売上収益	8,650 億円	親会社の所有者に帰属する当期利益	582 億円
営業利益	965 億円	EPS (1株あたり当期利益)	134.49 円

# 開示内容の変更

以下の項目において、2022年3月期より開示内容を変更いたします。

## 1. 国内ガス事業セグメントの改称

「日本ガス事業」に名称変更いたします。

## 2. 前期比増減要因の記載期間の変更

従来、連結累計期間基準で記載していましたが、「四半期単位の連結会計期間基準」に変更いたします。

## 3. 製品セグメントの開示区分の変更

投資家・株主の皆さまに簡潔で分かりやすく理解いただけるように、下記区分に変更いたします。

開示区分	内容
ガス	酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス、ヘリウムなどの産業ガス、LPガス、特殊ガス
パッケージ	お客さまに充填容器（シリンダー）を配送し、ガスの利用方法に応じて供給する形態
バルク	お客さまの構内に液化ガスの貯槽を設置して、ガスの利用方法に応じて供給する形態
オンサイト	お客さまの隣接地に生産工場を設置して、配管を直接繋いで、常時供給する形態
特殊ガス	主に半導体や液晶パネルの製造工程で使用される電子材料ガス、標準ガス、高純度ガスなど
機器・工事 他	ガス利用時の付帯設備、ガス純度を上げるための精製設備、設備据付工事、溶接・溶断関連製品など
産業ガス関連	供給設備などのガス利用機器、空気分離装置、ハードグッズ類（溶接・溶断関連）など
エレクトロニクス関連	エレクトロニクス向けの設備据付・配管工事、不純物を除去する精製装置など

# 非経常項目

非経常項目とは構造改革費用（事業縮小・撤退、特別退職金）、災害や重大な事故による損失、その他（遊休資産の処理など）が該当します。当社は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出した数値をコア営業利益として表示しています。

なお、2022年3月期 第1四半期においては、下記の通り、当該項目の計上はありませんでした。

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比
(単位：億円)			
コア営業利益	140	245	+105
非経常項目	-	-	-
営業利益 (IFRS)	140	245	+105

# 重要経営指標

項目	単位	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	2021年3月期 通期
基本的 1 株当たり当期利益	円	17.19	37.12	127.59
海外売上収益比率	%	56.4	59.6	56.1
ROE	%	—	—	12.0
ROCE	%	—	—	6.1
1株当たり年間配当金	円	—	—	30
配当性向	%	—	—	23.5
設備投資及び投資	億円	154	171	614
減価償却費および償却費	億円	214	232	863
フリー・キャッシュ・フロー	億円	55	81	895
調整後ネットD/Eレシオ	倍	1.43	1.13	1.15
有利子負債残高	億円	10,341	9,461	9,492
純有利子負債残高	億円	9,053	8,609	8,581

# 要約キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期	前年同期比		2022年3月期
	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率	通期予想
税引前当期利益	114	222	+108	+93.1%	860
減価償却費・償却費	214	232	+18		870
運転資金増減	-45	-102	-57		-48
その他	-75	-103	-28		-143
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>208</b>	<b>248</b>	<b>+40</b>	<b>+18.9%</b>	<b>1,538</b>
設備投資	-152	-158	-6		-773
投融資	-1	-12	-11		-
その他（資産売却等）	1	3	+2		-30
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-153</b>	<b>-167</b>	<b>-14</b>	<b>+9.3%</b>	<b>-804</b>
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>55</b>	<b>81</b>	<b>+26</b>	<b>+45.4%</b>	<b>734</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>228</b>	<b>-151</b>	<b>-379</b>	<b>-</b>	



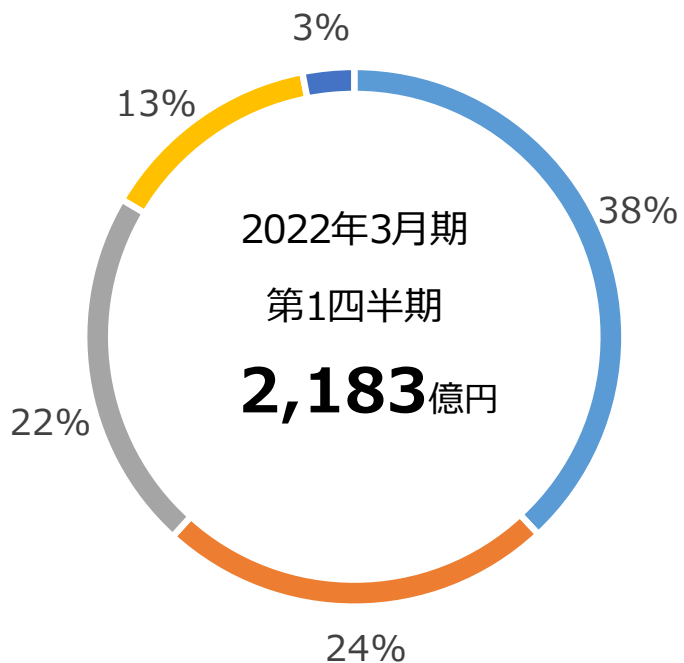
# 要約財政状態計算書

(単位：億円)	2021年3月期	2022年3月期	比較		2021年3月期	2022年3月期	比較
	通期末	第1四半期末	差異		通期末	第1四半期末	差異
現金及び現金同等物	910	852	-58	有利子負債	9,492	9,461	-31
営業債権	1,820	1,861	+41	営業債務	960	936	-24
棚卸資産	696	735	+39	その他	2,470	2,452	-18
その他	261	288	+27	<b>負債 合計</b>	<b>12,923</b>	<b>12,851</b>	<b>-72</b>
<b>流動資産 合計</b>	<b>3,689</b>	<b>3,738</b>	<b>+49</b>	資本金・剰余金等	5,158	5,250	+92
有形固定資産	6,857	6,829	-28	その他の資本の構成要素	-26	13	+39
のれん	4,550	4,576	+26	<b>親会社の所有者に帰属する持分</b>	<b>5,131</b>	<b>5,263</b>	<b>+132</b>
無形資産	2,377	2,394	+17	<b>非支配持分</b>	<b>307</b>	<b>309</b>	<b>+2</b>
その他（資産売却等）	888	885	-3	<b>資本 合計</b>	<b>5,439</b>	<b>5,573</b>	<b>+134</b>
<b>非流動資産 合計</b>	<b>14,673</b>	<b>14,686</b>	<b>+13</b>	<b>負債・資本 合計</b>	<b>18,362</b>	<b>18,424</b>	<b>+62</b>
<b>資産 合計</b>	<b>18,362</b>	<b>18,424</b>	<b>+62</b>				



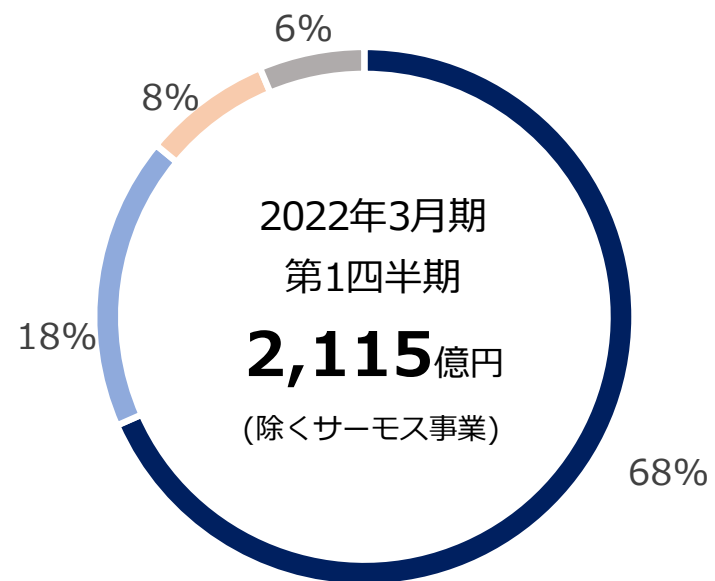
# 売上収益構成

## セグメント別



■ 日本 ■ 米国 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア ■ サーモス

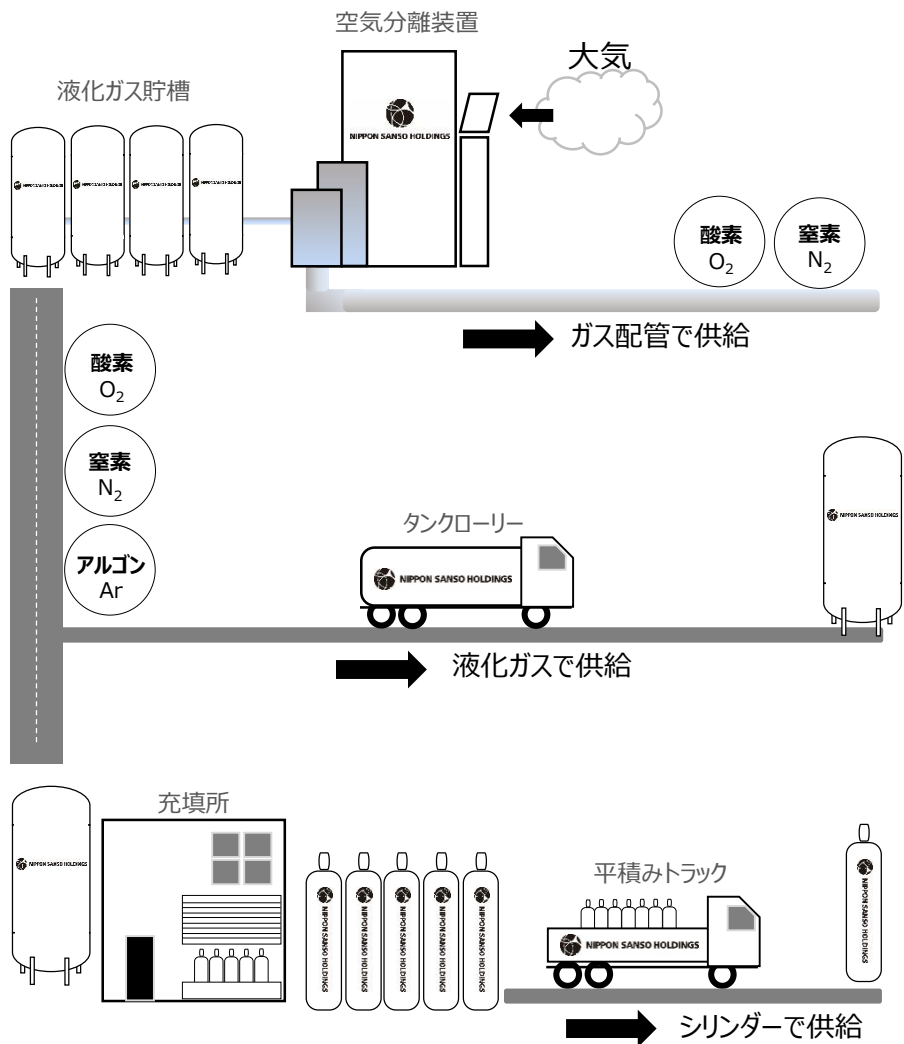
## 事業別



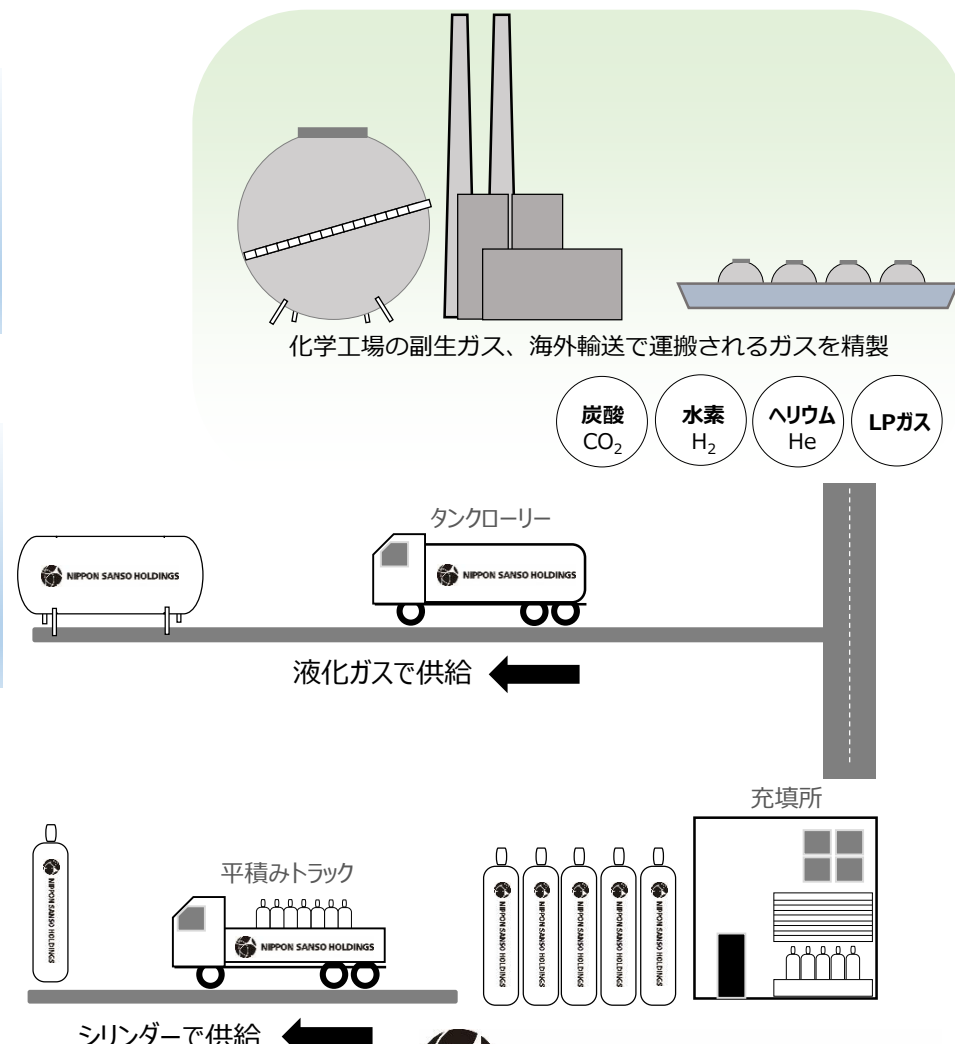
■ 産業ガス ■ エレクトロニクス ■ メディカル ■ エネルギー

# 産業ガスの供給モデル

## エアセパレートガス



## その他のガス



### オンサイト On-site

主要な供給先 (業種)

鉄鋼 石油化学 石油精製

客先の隣接地に生産工場を設置し、配管を直接繋いで、常時供給する形態 (大規模供給)

### バルク Bulk

主要な供給先 (業種)

自動車 造船 ガラス・製紙  
建設機械 製薬・医療 食品・飲料  
液晶パネル 太陽電池 半導体

客先構内に液化ガスの貯槽を設置し、ガスの利用方法に応じて供給する形態 (中規模供給)

### パッケージ Packaged

主要な供給先 (業種)

在宅医療 先端医療 公衆衛生  
技術開発 研究開発 建設工事

客先に充填容器 (シリンダー) を配送し、ガスの利用方法に応じて供給する形態 (小規模供給)

さらに詳しい情報は、こちらまでお問い合わせください。

**報道関係者の皆さま**

人事・秘書室 広報部

Tel : 03-5788-8513

E-mail : [Nshd.info@nipponsanso-hd.co.jp](mailto:Nshd.info@nipponsanso-hd.co.jp)

**投資家・株主の皆さま**

財務・経理室 IR部

Tel : 03-5788-8512

E-mail : [Nshd.ir@nipponsanso-hd.co.jp](mailto:Nshd.ir@nipponsanso-hd.co.jp)

**今後の投資家向け開催予定イベント**

2022年3月期 第2四半期決算発表 2021年11月 1日 (月)

2022年3月期 第2四半期決算説明会 2021年11月11日 (木)

[www.nipponsanso-hd.co.jp](http://www.nipponsanso-hd.co.jp)

**日本酸素ホールディングス株式会社 (証券コード : 4091)**

本社所在地 : 〒142-0062 東京都品川区小山1-3-26



**NIPPON SANSO HOLDINGS**

**The Gas Professionals**

© 2021 NIPPON SANSO Holdings Corporation All rights reserved